

## 1. 事業概要

使い捨てプラスチックの削減の重要性や取組に関する意識啓発を図るため、関係団体との連携によるワークショップ等を開催する。

## 2. 開催内容

### (1) ワークショップの開催

海の生態系に影響を及ぼす海洋プラスチック問題をテーマに、使い捨てプラスチック製品等のリデュースやリサイクルについて学び、プラスチックの資源循環を促進するためのワークショップを開催する。

### (2) フィールドワーク

錦江湾のプラスチックごみの現状を認識するため、清掃船での「海洋ごみの回収作業」を行う。



清掃船「きんこう」（県所有）

1. 事業概要

ごみステーション周辺の美化を図るため、ボックス型ごみステーションに加え、折り畳み式を設置・補修又は再整備する町内会等に対して助成する。

- (1) 対象団体  
ごみステーションを利用する地域団体及び共同住宅の所有者等
- (2) 補助対象  
ごみステーションの整備等に要する経費
- (3) 補助金額  
整備等に要する経費の1/2 (限度額5万円)

2. 拡充内容

2年度まで



3年度以降



※図はいずれもイメージです

3. 事業実績

全体	H28	H29	H30	R元	R2
補助件数 (件)	56	67	46	39	48
補助金額 (円)	2,620,900	3,099,000	2,098,100	1,760,600	2,192,200

<拡充>マンホールトイレ整備事業 [予算額：33,800千円]

1. 事業概要

大規模災害時のし尿処理対策の一環として、迅速に設置でき衛生面も良好であるマンホールトイレを避難所等に整備する。令和3年度は、教育総合センター、天保山中学校、城西中学校に整備する。

- (1) 整備場所 教育総合センター（名山小学校及び中央公民館への避難者用）、天保山中学校、城西中学校
- (2) 整備費用 33,800千円（内訳：工事請負費 30,000千円、備品購入費（便器・テント等）他 3,800千円）

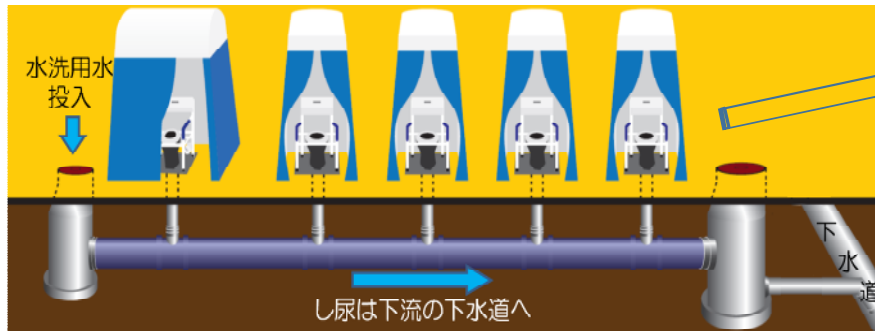
2. スケジュール

整備対象：桜島爆発避難場所 12箇所（令和2年度に1箇所（長田中）整備済）

	避難所数	整備対象避難場所（便器数）
3年度	4箇所	名山小・中央公民館（7基）、天保山中（7基）、城西中（8基）
4～5年度 （予定）	7箇所	松原小（4基）、城南小（4基）、山下小（4基）、甲東中（7基） 大龍小（4基）、清水中（7基）、玉龍高校（11基）

上記以外の避難所等（地域福祉館、公園等）には、大規模改修工事等に併せて整備を図る。

3. イメージ図



# 新南部清掃工場(バイオガス施設・高効率発電施設)整備・運営事業

## 1 事業概要

「ゼロカーボンシティがごしま」の実現に向けて、バイオガス施設と高効率発電施設を有する新工場を完成させ、令和4年1月に供用開始する。

- (1) 新工場建設 平成29年12月26日～令和3年12月31日 (4年間)  
 工事請負費 210億6,000万円(令和3年度:76億6,227万8千円)
- (2) 運營業務 令和4年1月1日～令和24年3月31日 (20年3か月間)  
 委託料 141億9,000万円  
 (令和3年度:1億7,518万5千円※3か月間)

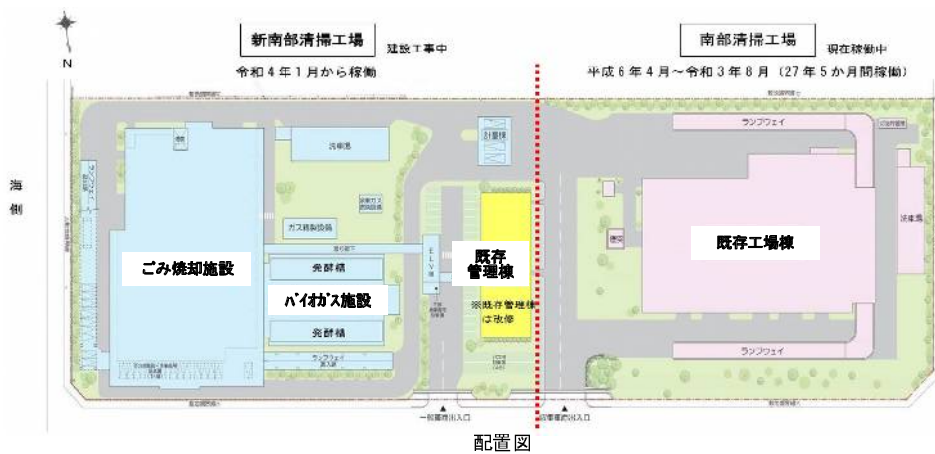
## 2 新南部清掃工場の概要



位置図



完成予想図



配置図

## 3 新南部清掃工場の主な特徴

- (1) **DBO方式の採用** (DBO: Design Build Operate)  
 公共が資金調達し、設計・建設・維持管理・運営までを一括契約し、民間を活用する  
 公設民営方式 (本市で初の取組み)
- (2) **バイオガス施設**  
 生ごみや紙ごみなどから発生したバイオガスを精製し、都市ガスの原料(メタンガス)として供給  
 (日本で初の取組み)
- (3) **高効率発電**  
 ごみ焼却で発生する廃熱を有効利用した高効率発電  
 (発電機能力: 現工場3,000kw/h→新工場4,710kw/h)

## 4 事業スケジュール

